武　一　中

令和３年３月２５日
武蔵野市立第一中学校
学校だよりＲ２－１７号

URL:http://dai1-jh.musashino-city.ed.jp/

努力する人は希望を語り、怠ける人は不満を語る

校　長　　中嶋　建一郎

19 日は、第 74 回卒業式でした。コロナウイルスへの対応で昨年に続き短時間での開催となりました。卒業生に向けてのメッセージを紹介します。

卒業生の皆さんとの出会いは一昨年の四月です。２年間という期間ですが、皆さんと共に過ごせたことをうれしく思っています。特に２年生の時の横浜への校外学習は、素晴らしい天候の中、実施され、その後のポスターセッションで楽しく、わかりやすく報告していた姿が目に焼き付いています。また、11 月の終わりから始まった面接練習では、皆さんの進路に向けた真剣な考えや将来の夢を聞くことができました。今年は、面接練習を２回、３回希望する人がいて、来るたびに上達している姿に強い熱意を感じました。皆さんは、これから、あの時に聞かせてくれた話を実現していくのだろうと期待しています。

さて、ここで卒業に向けて、私が出会った言葉を紹介します。作家の井上靖さんの言葉です。「努力する人は希望を語り、怠ける人は不満を語る」という言葉です。この言葉の意味をどう考えるかは、様々あるようです。

私は、前半の「努力する人は希望を語る」という部分には、何かを成し遂げようと努力をしていると、未来に向けて、「自分はこんなことをやってみたい」という思いや希望が生まれる状態になるのだと考えます。また希望が見えてくると、それに向けて努力する。希望と努力は、交互にお互いを引き出しているように感じます。

一方、後半の「怠ける人は不満を語る」という部分には、過去に向けて、「あの人があ言ったからこんなことになってしまった」というような他人のせいにして行き詰る状態を想像します。こちらも不満があるから怠ける、怠けるために不満を言うように感じます。

この努力する人、怠ける人ですが、自分の中に両方いませんか。私にはいます。だから私は、この言葉を忘れないのだと思います。自分は、どちらになりたいのか。時々、この言葉を思い出し、自分を振り返ります。

「努力する人は希望を語り、怠ける人は不満を語る」皆さんの記憶の片隅に置いてください。

３年生の皆さん、修学旅行が実施できなかったことは悔やまれますが、希望を語りましょう。行動力のある皆さんのことですから、旅行会社αトラベル、旅行会社リピート、そして、つぼのアスカスの３社合同で、20 歳の修学旅行の企画はどうでしょうか。そのくらいの力が皆さんにはあると確信しています。

卒業生は、進路先での忙しい日々が始まるのでしょうが、５年後が楽しみです。

下線は２年時のポスターセッションでのＡ組Ｂ組Ｃ組の旅行会社名です。